



Susono Overseas Friendship Association

# SOFA

2016年元旦  
Vol.  
**75**

発行：裾野市海外友好協会 事務局：〒410-1118 静岡県裾野市佐野921-3 TEL/FAX055 (993) 9695



## A Happy New Year



会長 ニノ宮 祥司



新年あけましておめでとうございます。  
 会員の皆様方におかれましては、新たな気持ちで、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。  
 さて昨年は、スピーチコンテストを始め、日韓交流コンサート、小中学生のフランクストン市への派遣など多くの事業を開催いたしました。  
 本年も1月17日に開催されます地球のステージ2を皮切りに、多様な事業を展開して行く予定です。  
 特に、4月にはフランクストン市でジャパンフェスティバルが開催される予定となっておりますので、多くの市民の皆様にご参加を頂き、訪問団を派遣したいと考えております。  
 会員の皆様におかれましては是非訪問団にご参加頂き、姉妹都市交流の輪を広げていって欲しいと願っております。  
 最後になりましたが、会員の皆様の益々のご健勝とご発展を祈念すると共に、協会への変わらぬご支援とご協力をお願い致しまして年頭のご挨拶とさせていただきます。

## 地球のステージ2

**《チケット発売中》**

主催：裾野市海外友好協会

世界の現状を知ろう

地球のステージ2

世界で何が起きているか、未来を伝える。地球のステージ2



自分たちが住んでいる世界

と世界をどうにかしたいのか

「世界」を「地球」で考えることが大切です。

講師：桑山紀彦氏

心療内科、精神科医。NPO法人「地球のステージ」代表理事。国内で医師として診療を行う一方、パレスチナや東ティモール、地震など被災地での国際医療支援活動など、多方面でご活躍。

- 期 日／平成28年1月17日(日) 午後1時開場、1時30分開演
- 会 場／裾野市生涯学習センター 3F 学習ホール
- 入 場／500円(自由席)
- チケット・問合せ／裾野市海外友好協会 (Tel.055-993-9695)  
E Mail : info@sofa-jp.org





第9回日韓交流コンサートが8月22日に、文化センターで開かれました。このコンサートは韓国の方と音楽を通して交流を図ろうと開かれたもので、韓国の伝統楽器を使ったサムルノリのリズムでの太鼓演奏などが披露されました。中でも扇子を使った踊りは観客の目を引き、会場から大きな拍手が送られました。また、会場受付ではネパール震災支援の募金活動も行われ、さっそく支援金をお届けしました。



第9回  
日韓交流チャリティコンサートが開かれました。



郊外の牧場にて

このプログラムを組んで4回目の実施となりました。小学6年生2名、中学1・2年生8名、計10名を派遣することができました。フランクストンの各家庭にホームステイしながら、デリンヤ小学校に5日間体験入学をしました。デリンヤ小学校の子もたちは、気軽に日本語で挨拶し、温かく私たちを迎えてくれました。朝会時には、全員浴衣を着て盆踊り（ソーの首頭）を披露するなど、親睦を深めることができました。

短い間でしたが、子どもたちは、国際的なコミュニケーション能力を身につけ、慣れない英語や、現地の文化、生活にもなれ、国際人としての自覚を培うことができました。

「ただいま」と、元気に帰国することができて良かったです。

派遣プログラムにあたって、多くの皆様方のご協力に感謝申し上げます。ありがとうございました。

随行 交流推進委員長 中山あい子

平成27年度  
夏休み小中学校短期派遣  
プログラムに10人が参加

オーストラリア・フランクストン市への短期留学を経験し、参加者全員が無事に、笑顔で帰国する事ができ、本当に嬉しく思います。

小学生2名、中学生8名、タイ（バンコク）経由でメルボルンへ向かいました。約15時間のフライトの後、フランクストン市に到着し、ホストファミリーの皆さんにむかえて頂きました。

滞在中は、デリンヤ小学校での体験入学、フランクストン高校訪問、市長への表敬訪問などを体験しました。なれない英語に加え、日本との文化の違いに驚くことも多くありましたが、積極的に関わりを持っており、子どもたちの生き生きとした姿は非常に印象的でした。

このかけがえのない貴重な経験が、子どもたちが将来を切り開いていくうえで役立つことを願っています。

随行 東中学校教諭 望月瑠里



牧羊犬を慣らす練習?





熱弁のマハジャンさん

マハラジャンさんと一緒に「ナマステ」



## ネパールの今を知る

### 国際交流サロン

「ネパールの今を知ろう」をテーマに、11月15日に裾野市生涯学習センターで国際交流サロンが開かれました。

講師は「ふじのくに親善大使」のナレス・マハラジャンさんで、ナマステ・ネパールしずおか会長も兼任されています。講師はネパールの高校を卒業後、留学生として来日し、静岡県知事から親善大使に委嘱されました。

この日の講演で、ネパールには70以上の世界遺産があるので、多くの皆さんが観光で来てくれることを待っており、それがネパール地震の復興につな

がると語っていました。

また、仏教の由来はインドではなく、実はネパールで、この国にはお墓がなく、ほとんどが骨を川に流しているとも話していました。

受講者からの質問で、シェルパ族はなぜ昔から登山者の荷物運びをしているか、に対し、元々、標高の高い所に住んでいて、シェルパ族しかその仕事に耐えられないと説明がありました。

受講者は、新たな発見をしたようでした。



今回の体験を通して  
今までホームステイを受け入れてきて、初めてホームステイする側になって、想像以上に緊張したり、もじもじ恥ずかしかったり、戸惑うこともありましたが、ホストファミリーが少し日本語で話してくれたので、安心して過ごすことができました。今回、英語を勉強していかなくて、話がうまくできなかったのも、今度、外国に行く時は、もっと英語を勉強して、話せるようになって行きたいと思いました。次のチャンスを楽しみにしています。

西小学校6年 石川晴大さん



フランクストン市庁舎で市長さん始め  
デリンヤ小学校の友達とバチリ!

編集  
後記



新年を迎え、今年こそはと思う日々です。そこで、今年は、本誌の編集部員を募集します。写真好きのあなた。文字書き好きなあなたをお待ちしております。事務局までご連絡ください。

編集者 hi-rose